

平成 30 年 10 月 31 日
市庁舎等建設に関する特別委員会
委員長 寺 北 建 樹

「西脇市を考える会」との課題懇談会
—新庁舎等の浸水対策について—

と き 平成 30 年 10 月 12 日 19 : 30 ~ 21 : 00
ところ 議会棟特別会議室
参加者 西脇市を考える会 大前道廣会長ほか 8 名
市庁舎等建設に関する特別委員会
寺北建樹 美土路祐子 中川正則 岩崎貞典 坂部武美 近藤文博
傍聴議員 村井公平 村井正信 高瀬 洋 吉井敏恭

[西脇市を考える会]は

- ・市民の声や要望事項について意見交換を行い、市政に反映する
- ・市政の課題について市民と意見交換を行い、市議会の活性化を図る
- ・若い人たちが市政を身近に考える環境をつくる

を目的に結成された市民団体です。代表者は、大前道廣氏

【新庁舎等建設の経過報告】

西脇市では、老朽化や耐震性能不足などの課題を抱える市役所、市民会館について、それらの課題解決を図るとともに、市の中心市街地におけるまちづくりを進めるため、カナー跡地（下戸田）において、新庁舎・市民交流施設として移転新築することとしました。

平成 27 年 8 月 公共施設適正化検討委員会中間答申（建替えを答申）
平成 28 年 6 月 〃 中間答申（その 2）（カナー跡地を答申）
平成 28 年 7 月 新庁舎の位置を定める条例の改正が市議会で可決
平成 28 年 10 月 「西脇市新庁舎・市民交流施設基本構想」策定
平成 30 年 8 月 「西脇市新庁舎・市民交流施設整備基本計画」策定

【浸水対策について】

① 新庁舎の浸水対策と課題について

平成 16 年の 23 号台風でカナー周辺道路や駐車場が浸水したが、カナーの建物内部には水の侵入は無かった。その後、加古川・杉原川の河床掘削等に取り組み、2.3m の水位低下の効果がみられる。浸水想定区域は平成 25

年に見直されたが、それでもまだ、カナート跡地の敷地の南3分の2が50cm未満の浸水想定区域となっている。この地での新庁舎建設にあたり、防災上の配慮として、地下に部屋等を設けず、電気設備や防災・災害対策の所管課及び広域防災に対処する諸室を2階以上に設置することや、敷地の最大50cmの嵩上げを計画している。

② 兵庫県が新たに公表した浸水想定区域と対策について

新たな浸水想定区域として、新庁舎は6m位浸水し、2階までくると予測されている。対策として、電気室など防災上大事なものに関しては、基本計画では2階以上としていたものを実施設計の段階で、3階以上にすることと計画されている。このような浸水が起きた場合は、新庁舎の機能を少し残しながら、第2の場所としてMiraieを防災拠点とすることも計画されている。

③ 想定最大規模降雨の解釈について

日本でのエリアを15地区に分け、西脇市が属するエリアの中で、一番たくさん降った小豆島での降雨実績、2日間で750mmを基準としている。その場合、新庁舎は6m浸水予測が出ているが、1日で水が引いていくと県では試算されている。

【意見交換】

(考える会) 温暖化で想定外の降雨がおきている。過去に浸水したような場所への庁舎建設は心配だ。

(議会) 河床掘削、内水排水ポンプの設置、50cmの嵩上げ等浸水対策は行っている。その後“1000年に一度を超える降雨”が提起された。この対策は今後の課題である。

(考える会) 防災拠点をちゃんとした所に別に作る方がいいのでは。市役所の中に防災拠点を作る必要はないんじゃないか。防災拠点を作るのにどれくらいかかるのかわからないが、施設が二重になるのなら、はなから1ヶ所にする方がお金が少なくて済むのではないか。

(議会) 警報が発令されても、昼間であれば、通常業務をしながら災害対策業務を行なうので市役所の中に必要。Miraieでも対応できるように計画する。

(考える会) 交付金があるといってもほんとに返せるのか。人口は減るは年寄りが増えるは、どうやって返すのか。行政は楽観的すぎる。

- (議 会) 築 50 年で耐震も問題あり。防災拠点として建て替えざるを得ない。返済計画については、議会もきちっと対処していく。
- (考える会) 1000 年に 1 度の災害が明日来るかもしれない。市民の皆さんにもっと知らせないといけない。市民にしっかり説明して欲しい。
- (議 会) 今こそ自主防災組織の活性化が求められており、議会からも指摘している。
- (考える会) 東京だったら CG を作って、住民に見せたり、周知したり、ここまで水が来ますということを示したり、何かがあった時にはそれを参考にして逃げるよういろいろ工夫している。
住民だけでなく、西脇に来られる方とか、全ての方を対象にしてどのように警告をしていくのか、あらかじめ考えておく必要があるのではないか。
- (議 会) 今後の課題です。
- (考える会) まちかどミーティングでの市の説明はどちらかというと安全なんですよ、という話に感じたが、今回の法律改正（水防法等の一部改正）は、住民に対して危機感を持ってもらって、それぞれ逃げ道を考えてもらってタイムラインを考えてもらってという主旨だ。行政は市民に対して危機感を持ってもらうように働きかけるべきでは。
- (議 会) 避難の在り方については、9 月議会でも議論になりました。今後でも議論が必要だと思います。
- (考える会) 住民にとっては、自主防災組織はありがたいが、住民だけではなく、例えば仕事や旅行で西脇に来た人に対してどのように周知できるのかも大切では。高齢者にも子どもにも来訪者にも優しい周知の仕方をお願いしたい。
HP には防災に関していろんな項目で出ているが、ハザードマップは非常に見にくいマップが出ているだけだ。これまでに西脇で、中畑町が浸かったとか、下戸田が浸かったということを、マップに表示してもらわないと住民の危機感が一つもないのではないかな。
- (考える会) 個人的に疑問に思うことだが、多可町役場は前と同じ場所で庁舎を建てている。西脇市は別の場所で庁舎を建てる。高額な費用を使って建てようとしている。
- (議 会) 中心市街地の活性化の起爆剤にしたいと考えたので、現在地での建て替えよりも少し費用は高くなりますが、移転を考えました。
- (考える会) 市庁舎建て替えに関して、いつ市役所の建て替えが決まったのか、という市民の意見がほとんどだ。議員と市民との交流がなかった

から、ふれあいがない中、こういう計画が作られたんじゃないか。事前に市民に情報があまりにも無すぎた。カナートに移ることに関して、あまりにも知らされてなかった。

(議 会) 最初の経過報告の中でも説明しましたが、平成 27 年 8 月に「公共施設適正化検討委員会」が庁舎の建て替えを答申し、一年後の平成 28 年 6 月に建て替え地を「カナート跡地」と答申しました。正直言って、市民のみなさんからは賛否の意見がもっと多く出ると思っていました、思いのほか少なかったと思っています。

(考える会) 広島・岡山・愛媛等でおきているのを見ていると、西脇は大丈夫なのかと不安。ある程度の不安を持って自分で自主対策ができる考え方を持ちなさいという形の進め方。あまりにも大丈夫です、大丈夫ですというのはどうかなと思う（まちかどミーティングでの話）

(議 会) 私たち以上に市長以下担当者は不安に思っていると思う。しかし完成するまでは不安を表に出すべきではない。完成した暁には、安全対策について市民のみなさんと腹を割って議論すべきと思う。

(考える会) 浸水後引っ越してきた人は浸かったことを知らない人が多い。そういった人たちに浸かった事実を知らせる事と、対処の仕方を広報とかに載せて欲しいと思う。住民周知をしっかりアプローチすべきじゃないか。

(議 会) 不動産屋さんは隠すでしょう。

(考える会) 住民の方の危機管理をもっと上げられるような取組をしていただけたら、将来水害にあった時に被害を受ける方が減るんじゃないかと思うので、そういうことも考えて欲しい。

1000 年に 1 度やからそんなんほとんどおきないんだという考え方では絶対あかんのやということを、認識しろと言っときたい。

住民に対しての周知徹底ということに関してもシュミレーションの CD を作るとか、南海トラフの大阪あたりのイメージのような、この辺まで水が来ますよという電柱にラインを引くというようなそういったことも今後考えていけば、市民がえー！こんなところまで水が来るんか、それなら普段から気を付けなあかん、というような周知徹底の仕方もしていかねばいかんのではないか。

新庁舎の建設場所の変更を下戸田からどこか安全なところに変えて欲しいのが本音です。だけどここまで来て後戻りはできないというならば、5～10m の対策をせねばならない。それを議会や役所の方でまじめに考えていただきたいというのが我々の今回の要望で

す。

(議 会) これ以て終わりということではなく、今後とも市民のみなさんの意見をお聞きする中で、安全・安心の街づくりに頑張っまいます。